

令和2年6月定例記者会見及び5月月例記者会見

1. 6月定例記者会見

【説明】

〔6月議会案件〕

〔令和2年生駒市議会(第5回)定例会 提出案件〕

市長 生駒市議会6月定例会の議案について説明いたします。議案件数は18件で、そのうち条例は7件ありますが、国の制度変更に伴う措置を講ずるためのものです。補正予算については、4億8,211万1千円を計上し、補正後予算は497億1,824万6千円となります。その内訳として、本日は特に新型コロナウイルス感染症に関する取組を中心にお話しします

〔新型コロナウイルス感染症に関する生駒市の取組〕

市長説明

(事業者の皆さまへの支援に関すること)

「さきめしいこまプレミアムキャンペーン」について、生駒市は、全国の自治体で初めてGigi株式会社と連携し、「さきめしいこま」という地元の飲食店支援の取組を始めましたが、飲食店以外にも応援できないか、また、緊急事態宣言が全国的に解除される中、感染症拡大に気を付けつつ飲食店を支援するために、今後どのような支援ができるかを考えていく中で、「さきめしいこま」の取組をバージョンアップすることとしました。

まず、より多くの人々に「さきめしいこま」を使っていただくため、「さきめしいこま」の利用者が支払う金額に市が30%を上乗せします。具体的には、生駒市内のさきめし登録店で支払い(先払い予約)をすれば、利用者は支払金額の30%が上乗せされ「プレミアム」価格で利用できます。1,000円支払えば、1,300円分利用できることとなります。また、飲食店だけでなく物販や理容等まで対象を広げることで、広く地元消費を喚起します。事業費は1,968万1千円です。

また、「さきめしいこま」利用者には、10%の利用手数料が必要となりますが、期間限定ですが、(株)サントリーの協賛により、その手数料分を支払っていただけることとなりました。手数料もかからず支援できますので、このさきめしを活用し、非常に苦しい事業者を支援したいと思います。

(子育て・教育に関すること)

子育て・教育に関することについてですが、緊急事態宣言の対象地域が外れることから、6月1日(月)から分散登校で再開を予定している市立小・中学校は、6月17日(水)から平常どおり一斉登校に変更します。併せて、夏休みについては、3月からの休校による授業時間の不足分を確保するため、小学1、2年生を除いて短縮します。小学3～6年生については、8月1日から24日までの3週間、中学1年生から3年生は、8月1日から16日までの約2週間とします。

中学生につきましては、基本的な考え方として、今年度中に授業の遅れを取り戻すこととしますが、中学3年生は、国の方針にもあるとおり、高校受験があることから、2学期中に遅れを取り戻すスケジュールを進めるため、隔週で土曜日の補習を実施します。

オンライン教室は、534本の授業動画、自宅学習の「e-ライブラリ」、オンラインホームルームが可能

な「G Suite for Education」の3点で進めています。これらを活用し、6月16日(火)までの分散登校時はもちろん、新型コロナウイルス感染拡大の第2波以降にも備えるため、夏休みにオンラインを活用した課題を行ったり、不登校の生徒にも学ぶ機会を提供できるように、「オンライン教室」は継続して取り組むとともに、活用の方法を議論していきたいと思っております。

その他、国の「GIGAスクール構想」に基づく情報端末の整備やインターネット環境のない家庭へのパソコンやモバイルwi-fiの貸出をしていきたいと考えております。

6月以降の授業の進め方ですが、中学3年生では2学期中に後れを取り戻すこととしております。3月から5月と6月分の一部を、4、5月では一部授業動画を活用しながら1学期中に行い、8月17日以降に12月までに後れを取り戻します。中学生では、水曜日の6時間目に授業時数を確保したり、習熟度テスト等を行います。なお、小学生と中学1、2年生は、必要以上に行事等を取りやめず、また、急ぎすぎず、年度末までに後れを取り戻すというのが基本的な考え方です。具体的には、8月の夏休みに入るまでに5月分までを行い、夏休み以降の7か月で9か月分を行うことにしています。

給食費は、学校再開の2か月分を無償化することを考えておまして、具体的には小学1、2年生については9月9日まで、小学3年生から6年生は8月31日まで、中学生については8月24日まで無償とします。

部活動につきましては、6月17日から再開しますが、接触が多いような練習等は避けて少しずつ体を慣らしてもらうようにすることを考えております。

市立の幼稚園、こども園(1号)につきましては、教室数に比較的余裕がありますので、6月1日から一日おきではなくて毎日登園とし、教室を分ける形の分散保育とし、6月17日からは、十分な感染予防対策をとった上で通常保育に戻していくことを考えています。夏休みは、例年通り7月20日から8月31日までとします。

なお、国の方針で、既に小学5、6年生と中学1年生には一人1台のパソコンを配備しておりますが、今回の新型コロナウイルスによりオンラインの需要が高まりましたので、残りの小学1～4年生と中学2、3年生にも導入するように補正予算を計上しました。

(市民の皆さまの暮らしに関すること)

生駒市の図書館にオンラインで借りて読める電子書籍を500冊導入する予算を計上しました。電子書籍を貸し出しているのは、全国でも少なく、今年の1月1日現在で94自治体です。

次に内定取り消しや雇止めになった人などを対象に会計年度任用職員を募集します。

(医療体制に関すること)

消防本部で新型コロナウイルス特別救急搬送専属隊を発足しており、今後の第2波のことも考慮し、救急隊が接触することによる二次感染を防ぐために、感染症患者専用の搬送装置を購入します。また、生駒市立病院に防護服やフェイスシールド等の医療資材を購入したいと考えています。

(公共施設の感染拡大防止策に関すること)

職員のテレワーク、Web会議等につきまして、緊急事態宣言が解除されても引き続き必要に応じて活用できるように、環境を整備するための経費を約2,200万円計上しております。

(その他)

その他の補正予算として、県から休業要請中に指定管理者として運営を委託している公共施設に対しても休業に協力していただいておりますので、維持管理費の補填分などを計上しています。また、新型コロナウイルスにより、事業等の中止や、理事者等の期末手当の削減に伴う減額補正を計上し

ております。

新型コロナウイルス以外では、学校給食センター整備事業費等を計上しております。

【 質疑応答 】

記者 学校の通常授業が6月17日となった理由は何ですか。

教育長 15日の月曜日から始める自治体が多いんですが、生駒市では月・水・金と火・木・翌週月に分けて1日おきの分散登校をしており、6月3日から16日までの2週間でワンサイクルの区切りとなりますので、17日からしております。

記者 今後の学習プランは、中学生は全て12月までに遅れを取り戻すということになるのですか。

市長 中学3年生は受験もあり12月までとしています。小学生と中学1,2年生は、年度末の3月までとしています。夏休みの期間も違うので中学1,2年は小学生よりは少し早いペースになると思います。

記者 中学3年生は隔週土曜日に補習をするということですが、今回の後れを取り戻す学習プランを実現するためですか。

教育長 今まで長期の休業期間があったことで、生徒間の学力のばらつきが出ていると考えられます。遅れてしまった生徒の学力を引き上げるためにも補習が必要になります。

記者 一人1台のパソコンを導入するにあたって国から補助金等が出るのですか。

担当課長 国から3分の2の補助が出ます。

記者 内定取り消しや雇止めになった人などを対象にした会計年度任用職員の募集ですが、以前にあった新規採用職員の中でこういった人もチャレンジしてくださいとされていたのは別ですか。また、募集はいつからですか。

市長 今回は別にこれらの人を対象とした枠をとっています。任用期間は7月1日からですが、予算が承認されればすぐに募集したいと思っています。

記者 試験はありますか。

市長 書類審査と面接で決めたいと思っております。

記者 新型コロナウイルスに係る減額補正は、全額でいくらですか。

担当課長 一般会計予算分で3,839万2千円になります。

記者 生駒市の新型コロナウイルスに関する臨時交付金はいくらで、その内どれだけ使いますか。

担当課長 5月と6月の補正予算として、2億9,250万円計上しています。今回の補正予算で全て使い切るようになります。今後2次分があると聞いています。

記者 学校給食センターの補正予算ですが、3月議会で削られたものだと思うのですが、内容が変わったのですか。

教育長 3月に指摘がありました、説明不足を解消するとともに、費用を精査し50万円削減しました。

記者 減額補正された分の使い道はどうなりますか。

担当課長 今回の補正の一般財源分になります。

記者 今回の生駒市の持ち出し分はどうなりますか。

担当課長 約2億1,100万円となっています。

2. 5月月例記者会見

案件なし

(その他の質問)

記者 大阪、京都、兵庫の緊急事態宣言が解除され、徐々に賑わいも戻っていると思われませんが、今後第2波に対してどのような対策を考えていますか。

市長 関西が解除され、全国的にも解除の方向になってきていることで、第1波は収束に向かっていると感じています。今後も最低限の感染予防の対策は継続していくことは必要ですし、大規模のイベントや施設利用については、今までどおりになるとは思っていません。まずは、経済的なダメージが大きかった事業者へのデリバリーやテイクアウトだけではなく、集客などの支援をしっかりとっていくことが重要であると思います。それ以外の市民一人ひとりに寄り添っていく支援も考えていきたいと考えています。第2波はいつ来るかは分かりませんが、今までの教訓を生かし、迅速で効果的な対応がとれるようにしっかり準備していきたいと思っております。

また、今後災害等で避難所を設置しなければならないことが起こる可能性がありますので、避難所にコロナウイルス対策に必要な備品等も揃えましたが、今後も災害とコロナウイルスの両面の全般的で包括的な対策、備えを考えていきます。

記者 香芝市長選挙があり、自民党が推薦した現職が落選するという意外な結果になりましたが、このことについてどう思われますか。

市長 前吉田市長とは、先進的な取組も積極的にされており、オンライン教育のあり方を始め、様々なことで連携、相談していた関係でしたので、今回の結果には驚いております。コロナウイルスや新市長の活動等いろんなことが影響した結果であろうと思いますが、今までの吉田市長のご功績には高く評価しております。今後とも香芝市と連携、協力はしていきたいと考えています。

(了)